

※情報は少なくても良い

書式【3】

G S V 事例報告様式

- ・A4-1枚におさまる分量で。
- ・フォントや改行幅は原則変えない。

20 年 月 日		検討回数	今回は 記載不要	提出者名：
(通称)	似ている芸人やニックネームなど			<ul style="list-style-type: none"> ●自分自身が困っていたり、悩んでいること、他者の意見を聞きたいことなどがある利用者を選定し、本様式を作成する。 ●情報は少なくてもよい。 ●<u>A4 1枚以内とし、フォントの種類・大きさをはじめレイアウトは変更しないこと。</u> ●本研修においては、個人が特定されないよう事例化して記載すること
年齢	代	性別	障害名	
家族構成（ジェノグラム）		手書き可	エコマッ	
(オンラインでない場合、手書き可)				
提出理由（提出者自身の困っていること、検討してほしいこと、アイデアのほしいこと）				
<p>「私が〇〇に困っている」「私が〇〇さんの支援方針がわからない」「私がアセスメントができない」など、一人称で具体的に記載する。</p>				
本人の生活に対するイメージ、本人の言葉や行動（できる限り、本人の言葉そのもので）				
<p>できるだけ本人の言葉で書く。表情や態度、具体的で事実を記載。支援者の予測はできるだけ排除する。本人の訴えがない場合は、「ない」と記入。ただし、家族や周辺の想いや期待があれば参考意見として記入。（児童事例も同様）</p>				
経過と現状（概要）				
<p>できるだけ簡潔にわかりやすく記載。出会った経過や現在の状況(暮らしぶり)を記載し、過去にできていたことや現在の興味、好きなことなど、個人や環境のストレングスなども意識しながら、当事者を他者に紹介するように記載する。 具体的には、「人柄」「暮らしぶり」など自分の友人を他者に紹介するイメージ。</p>				
スト レン グ ス	性格・人柄／個人的特性		才能・素質	
	<p>質より量。 マイナスの印象もプラスに転化(リフレーミング) 事実として書けることを記載</p>		<p>質より量。 マイナスの印象もプラスに転化(リフレーミング) 事実として書けることを記載</p>	
	環境のストレングス		興味・関心／向上心	
	<p>質より量。 マイナスの印象もプラスに転化(リフレーミング) 事実として書けることを記載</p>		<p>質より量。 マイナスの印象もプラスに転化(リフレーミング) 事実として書けることを記載</p>	